

「ご来賓あいさつ」(要旨)

フレイル予防などの施策を展開し、
元気で活力のある街にしていきたい



四日市市長
森 智広様

四日市市では、今年度から二つ
フレイル対策・フレイル予防の活
動を始めました。フレイルとは、
努力すれば元気な体に戻ってくれ
るという状態です。今年度から中
部電力と協力し、お一人暮らしの
方に各家庭の電気モニター、電気
使用量をAIで分析し、その人が
フレイルかどうか判明するという
取り組みを行っています。ご興味
のある方は、ぜひ登録をしていた
だきたい。また、6月から高齢者
の補聴器の購入助成事業が始まり
ます。「しっかりと聞く・音を拾
う」ということは、認知機能の低
下を抑止し、フレイル予防にも繋
がります。様々な施策を展開して
いきながら、元気で活躍してい
ただける方々を増やしていきたい。
な街にしていきたい。

シルバー人材センター様と様々
な連携を図りながらこのような取
り組みを進めていければと思っ
ております。

具体的なニーズを的確に捉え、
高齢者が意欲的に
社会参加できる暮らしを



四日市市議会議長
村山 繁生様

近年、核家族化・少子高齢化が
急速に進んで、労働人口総数に占
める65歳以上の割合が年々上昇し
ています。そういった状況の中、
社会参加を希望される高齢者や、
また経験を活かして新たな就業を
目指す方々の多様なニーズに対応
され、多大なご尽力賜っておりま
すことに心から感謝申し上げます。
四日市市議会といたしまして
も、健康・医療・介護をはじめと
する具体的ニーズを的確に捉え
て、高齢者が意欲的に社会参加を
して暮らしていけるような、そう
いった施策を展開できるように尽
力してまいります。

会員の皆様におかれましては、
今後も自分の経験を生かしなが
らより一層地域社会で重要な役割を
担っていただきますようお願いい
たします。

高齢者の6割近くは、65歳を
超えても働きたいと希望

三重労働局長 石田 聡様



(代読)
四日市公共職業安定所
所長 奥野 裕子様

高齢者の6割近くは65歳を超え
ても働きたいと希望しており年齢
に関わりなく意欲ある高齢者が働
くための多様な就業機会を提供す
ることが求められています。

高齢者が活躍の場を見出し、働
きやすい環境の整備の一つとして
シルバー人材センターの機能強化
があげられます。

各シルバー人材センターにおか
れましては、さらなる会員数の拡
大に向けて取組を強化・推進いた
だき、引き続き雇用・就業機会の
確保に向けて一層の取組みをお願
いするとともに、事業運営の効率
化、適正で安全な就業の徹底を併
せてお願いいたします。三重労働
局としても、各ハローワークとと
もに関係機関との連携を密にし、
皆様の取組に対する支援に邁進す
る所存でございます。

社会の変化に対応した
高齢者の就業機会の
実現を図る



公益社団法人
三重県シルバー人材センター連合会
会長 角前 明様

昨今のシルバー事業を取り巻く
環境は「会員拡大」「退会抑制」
「安全就業の徹底と健康維持」
「デジタル化の推進」などに加
え、令和六年度から実施されてい
る「シルバー事業における契約方
法の変更」や令和七年度から施行
されている「公益法人制度改革」
など避けて通れない課題がいくつ
かあります。

このような課題をしっかりと認
識し、社会の変化に対応した新し
い高齢者の就業機会の実現を図っ
ていくことが求められています。

三重県シルバー人材センター連
合会といたしましては、会員拡大
や安全就業、デジタル化の推進を
柱に新たな課題である「契約方法
の変更」や「公益法人制度改革へ
の対応」についての取り組みに邁
進する所存でございますので、ご
賛同いただきますようお願い申し
上げます。